

令和4年度 指定管理者年度総合評価表
(令和4年4月～令和5年3月実施分)

作 成 日	令和5年6月9日
-------	----------

■指定管理者概要

施 設 名	八戸市総合福祉会館	
所 在 地	八戸市根城八丁目8番155号	
施 設 概 要	設置目的：市民の福祉の増進を図り、すべての市民が自助・共助精神のもとにコミュニケーションの輪を広げ、福祉活動及び社会参加の場、奉仕と自己研修の場として、また在宅福祉や地域福祉活動事業のための拠点施設として設置したものである。 建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上6階建塔屋1階建（第1・2会議室、大会議室、多目的ホール、第1・2教室、研修室、料理実習室、遊戯室、談話室）	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会
	代 表 者	会長 田口 豊實
	所 在 地	八戸市根城8丁目8番155号
指 定 期 間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日	
指定管理者の業務	(1) 会館の利用に関する業務 (2) 会館の施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) その他市長が必要と認める業務	
市 所 管 課 (問合せ先)	福祉部 福祉政策課 福祉政策グループ	
	電 話	0178-43-9258 (直通)
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評 価	協定書に定められた内容を遵守し、誠実に業務を遂行したほか、引き続き検温や消毒機器の設置、人数制限を実施し、感染症対策を講じた。また、利用者本位をモットーにサービス向上に努め、会館の清掃・設備等の維持管理を徹底し、清潔で利用しやすい環境づくりに努めた。さらに、ホームページで貸館予約状況を確認できるよう整備し、利用申請書類の郵送に対応する等、市外の利用者に対しても利便性の向上に努めた。
今後の目標	引き続き、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備するとともに、貸館利用者の増加に向け PR 活動を充実させる。また、設置目的に従い、地域福祉活動の拠点施設となるよう努めていく。

■市（所管課）の総合評価

評 価	・入居団体との連絡・調整や利用者への対応が適切に行われ、適正な管理・運営がなされていたと認められる。 ・各種事業や効果的な PR 活動のほか、利用者の利便性向上がなされている。また、新型コロナの感染対策を講じながら、利用者数、貸館利用率の維持に努めており評価できる。 ・収支状況は、外的要因である光熱費・燃料費の価格高騰により赤字であったが、積極的に節電等を実施するなど対策をしていた。 ・各設備点検や利用者からの申し出により、不良箇所を把握した際には、速やかな市への報告や業者への発注がなされており、利用者の安全に配慮した施設管理が図られていた。
指摘事項	特になし

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された開館時間や休館日を遵守していた。また、休館日であっても入居団体の使用に便宜を図り、サービス向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していた。
適正な人員配置	◎	業務基準書に示された配置基準以上の人員及び資格者（社会福祉士、社会福祉主事、車イス等の操作を熟知した職員）を配置し、施設利用者のサポートに努めていた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令を遵守していた。健康診断、福利厚生センターへの加入等、職員の福利厚生に努めていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	「障がい者の雇用の促進等に関する法律」で障がい者雇用が義務付けられており、障がい者1名を雇用していた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	各種福祉サービスの提供や相談活動、ボランティア活動や市民活動の支援を行っており、提案内容に即した活動が行われていた。
従事者の教育・研修	○	公の施設であること等の基本的な事項を十分に教育し、当該業務を実施するために必要な緊急時の対応や職員の接遇研修等を実施していた。
緊急事態への対応	○	独自に災害や事故時の対応を定めた「非常災害時における事務要綱」を作成し研修を実施していた。また、法令に従い消防訓練を年2回実施していた。
文書の管理保存	○	文書の取扱規定が整備され、作成、受領した文書の管理が適切に行われていた。
報告書等の提出	○	事業計画書、月例報告書、事業報告書、その他の各種報告が延滞なく適切に提出されていた。
使用料の徴収事務 ※徴収委託をしている場合	○	使用料の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	専用口座で管理し、他の会計と区分して経理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 別々の担当者がそれぞれ保管し、リスク管理が徹底されていた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	事例なし

施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が設置条例に従い適切に行われていた。 (使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。) また、休館日においても入居団体等に柔軟な対応を行った。
施設、設備の保守管理	○	施設設備の保守管理(点検・修繕)が業務基準書のとおり適切に行われていた。
備品の管理	○	備品台帳に基づき、管理(点検)されていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務・警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明																																
利用状況	○	新型コロナウイルスの影響により、令和2、3年度の利用件数・利用者数は落ち込んだが、感染者数が落ち着いてきたのもあって、利用件数・利用者数共に昨年度を上回った。検温機や手指消毒液の設置等、新型コロナウイルス感染対策をしながら、広報誌などで貸館のPRを行い、利用率の維持に努めていた。 <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>利用者数</th><th>貸室利用率</th></tr><tr><td>28年度</td><td>1,839件</td><td>68,822人</td><td>64.0%</td></tr><tr><td>29年度</td><td>1,879件</td><td>77,758人</td><td>65.4%</td></tr><tr><td>30年度</td><td>1,794件</td><td>73,455人</td><td>62.5%</td></tr><tr><td>元年度</td><td>1,798件</td><td>72,935人</td><td>62.4%</td></tr><tr><td>2年度</td><td>1,247件</td><td>33,782人</td><td>43.5%</td></tr><tr><td>3年度</td><td>1,332件</td><td>33,004人</td><td>49.4%</td></tr><tr><td>4年度</td><td>1,713件</td><td>39,076人</td><td>50.9%</td></tr></table>	年度	件数	利用者数	貸室利用率	28年度	1,839件	68,822人	64.0%	29年度	1,879件	77,758人	65.4%	30年度	1,794件	73,455人	62.5%	元年度	1,798件	72,935人	62.4%	2年度	1,247件	33,782人	43.5%	3年度	1,332件	33,004人	49.4%	4年度	1,713件	39,076人	50.9%
年度	件数	利用者数	貸室利用率																															
28年度	1,839件	68,822人	64.0%																															
29年度	1,879件	77,758人	65.4%																															
30年度	1,794件	73,455人	62.5%																															
元年度	1,798件	72,935人	62.4%																															
2年度	1,247件	33,782人	43.5%																															
3年度	1,332件	33,004人	49.4%																															
4年度	1,713件	39,076人	50.9%																															
自主事業	○	夏休み親子ボランティア講座は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となったものの、施設設置目的に基づき、収集ボランティア、福祉機器・介護用品の展示等、自主事業が行われていた。																																
その他の取組 (運営に関する工夫)	◎	ホームページで貸館予約状況を確認できるよう整備するほか、休館日の開館や長期間の使用許可、申請書類の郵送等、利用者への便宜を図っていた。なお、冬場の休館日に開館する場合は、ボイラー凍結防止のために運転する等して対策をしていた。																																

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																					
指定管理業務の収支状況	△	光熱費・燃料費の価格高騰（外的要因）により、収支計画どおりに行かず、赤字であった。（赤字率：▲4.3%） (単位：円)																																																					
		<table><tr><th></th><th>項目</th><th>収支計画</th><th>収支実績</th><th>前年度実績</th></tr><tr><td rowspan="4">収入 ①</td><td>指 定 管 理 料</td><td>76,930,000</td><td>76,930,000</td><td>76,930,000</td></tr><tr><td>修 繕 料 繰 越 金</td><td>0</td><td>1,157,836</td><td>1,011,534</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>0</td><td>2,638,000</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>76,930,000</td><td>80,725,836</td><td>77,941,534</td></tr><tr><td rowspan="5">支出 ②</td><td>人 件 費</td><td>23,160,000</td><td>21,485,176</td><td>23,184,316</td></tr><tr><td>維 持 管 理 経 費</td><td>50,845,000</td><td>59,788,338</td><td>50,639,044</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>619,000</td><td>238,621</td><td>332,295</td></tr><tr><td>租 税</td><td>2,306,000</td><td>2,306,000</td><td>2,364,000</td></tr><tr><td>計</td><td>76,930,000</td><td>83,818,135</td><td>76,519,655</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>384,860</td><td>1,157,836</td></tr><tr><td colspan="2">収入－支出(①－②－③)</td><td>0</td><td>△3,477,159</td><td>264,043</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入 ①	指 定 管 理 料	76,930,000	76,930,000	76,930,000	修 繕 料 繰 越 金	0	1,157,836	1,011,534	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	2,638,000		計	76,930,000	80,725,836	77,941,534	支出 ②	人 件 費	23,160,000	21,485,176	23,184,316	維 持 管 理 経 費	50,845,000	59,788,338	50,639,044	事業費・一般事務費	619,000	238,621	332,295	租 税	2,306,000	2,306,000	2,364,000	計	76,930,000	83,818,135	76,519,655	次年度修繕料繰越金③		0	384,860	1,157,836	収入－支出(①－②－③)		0	△3,477,159	264,043
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																	
		収入 ①	指 定 管 理 料	76,930,000	76,930,000	76,930,000																																																	
			修 繕 料 繰 越 金	0	1,157,836	1,011,534																																																	
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	2,638,000																																																		
			計	76,930,000	80,725,836	77,941,534																																																	
		支出 ②	人 件 費	23,160,000	21,485,176	23,184,316																																																	
			維 持 管 理 経 費	50,845,000	59,788,338	50,639,044																																																	
			事業費・一般事務費	619,000	238,621	332,295																																																	
			租 税	2,306,000	2,306,000	2,364,000																																																	
			計	76,930,000	83,818,135	76,519,655																																																	
次年度修繕料繰越金③		0	384,860	1,157,836																																																			
収入－支出(①－②－③)		0	△3,477,159	264,043																																																			
自主事業の収支状況	○	自主事業は、費用をかけず実施していた。 ・災害ボランティア展（1/15～1/21） ・ボランティア・市民活動パネル展（1/28～2/12） ※総合福祉会館 1 階ロビーにて展示																																																					

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	意見箱を設置し、利用者の意見を把握する仕組みが整備されていた。
施設概要（利用方法）の周知	○	パンフレットを作成するとともに、ホームページや広報紙に利用案内を掲載し、積極的に周知を図っていた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望の受付体制を明示していたほか、苦情解決のための「福祉サービス苦情対応第三者委員会」を設置し、苦情処理体制を整備していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護規定が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	ホームページ及び広報紙に経営状況を公開するとともに、事務所内で閲覧できる体制を整備していた。（運用実績なし）
秘密保持義務	◎	就業規程の中に守秘義務を課し、適切に対応していた。
環境への配慮	○	5 月 15 日から 9 月 30 日までをクールビズ期間とし、室温を 28℃に設定する取組を周知し、また、電気を小まめに切るなど、節電に努めていた。また、環境に配慮した物品の購入やリサイクル推進等に取り組んでいた。
障がい者への配慮	○	館内の玄関 2 か所に車椅子を設置していたほか、手続の際に筆談等による対応を行うなど、丁寧な接遇に努めていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	施設・整備の維持管理及び清掃業務を毎日実施し、機械等は法令に従い随時点検を実施していた。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	月例報告書及び事業報告書等は遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	8回	5月17日	担当	モニタリング（帳簿等確認）
		7月19日	GL・担当	施設内状況確認
		9月5日	担当	施設内状況確認
		10月3日	GL・担当	施設内状況確認
		11月7日	担当	帳簿等確認
		12月1日	担当	施設内状況確認
		2月15日	担当	施設内状況確認
		3月27日	担当	施設内状況確認
	実施結果			
	施設の管理運営について、適切に行われていることを確認した。			

※GL：グループリーダー